

## 項目別の自己評価表（専門学校）

### 1. 学校の教育目標

服装についての知識と感性を高め、その制作技術を習得することにより、ファッションクリエイターとして社会に貢献出来る人材を育成する。

将来の衣服の在り方を考え研究し、アパレル界のリーダーとなる人材を育成する。

### 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ① 入学者の増加をめざす
- ② 教職員の技術力と指導力向上及び研究時間の確保
- ③ PDCA（計画、実行、評価、改善）サイクルの実施、3S（整理、整頓、躰）の実施
- ④ 生徒のモチベーションの維持とスキルアップ
- ⑤ 企業連携の強化
- ⑥ 就職サポート

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

#### （1） 教育理念・目標

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、やや不適切... 2、不適切... 1			
・ 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4	3	2	1
・ 学校における職業教育の特色はあるか	4	3	2	1
・ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
・ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	3	2	1
・ 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1

#### ① 課題

教育理念の共有の徹底。教育理念を人材育成に反映させていく必要がある。

#### ② 今後の改善方策

基礎技術、基礎知識の習得の徹底、教育理念の共有。

#### （2） 学校運営

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、やや不適切... 2、不適切... 1			
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1

・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	2	1
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3	2	1
・ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
・ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

① 課題

明確性の向上

② 今後の改善方策

会議を通じて改善を重ねていく必要がある。

(3) 教育活動

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、やや不適切... 2、不適切... 1			
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
・ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1

・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1

① 課題

基礎を重視した専門教育を行う。

② 今後の改善方策

教職員の研修や研究を通じ、授業を充実させる。授業内容の、横の連携を強化する。

③ 特記事項

洋裁技術認定、パターン検定に関しては、教職員が手厚く指導している。

(4) 学修成果

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、やや不適切... 2、不適切... 1			
・ 就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
・ 資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
・ 退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	3	2	1

① 課題

学生に目標意識を持たせる。

② 今後の改善方策

生徒へのヒアリングを細やかに実施し、希望する就職が実現するようサポートをする。

(5) 学生支援

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、やや不適切... 2、不適切... 1			
・ 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・ 学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
・ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
・ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・ 学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1

・ 保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
・ 卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
・ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
・ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1

① 課題

生徒は困ったことがあればいつでも教職員に相談することができるが、個々の性格によって気楽に相談しに来る者と来ない者の差がある。

② 今後の改善方策

あまり相談に来ない生徒でも、気軽に教職員に困りごとを相談できるよう、声掛けをしている。

(6) 教育環境

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、やや不適切... 2、不適切... 1			
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
・ 防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

① 課題

設備の充実、防災に対する体制の強化

② 今後の改善方策

設備については、優先順位をつけ、刷新中である。

防災については、閉門前に、毎日教室の見回りを徹底している。アイロンを使用する時にはルールを守るよう指導している。

ミシンのメンテナンスを定期的に行い、正しく使えるように管理を継続する。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、やや不適切... 2、不適切... 1			
・ 学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
・ 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
・ 学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

① 課題

大学進学を選ぶ学生が多い中、専門学校で服飾を学ぶ事の魅力をわかりやすく伝える必要がある。

② 今後の改善方策

ホームページをこまめに更新し、情報が停滞しないようにする。

③ 特記事項

スマホサイトからの閲覧がほとんどである。  
オープンキャンパスで作品制作を体験してもらい、学習のイメージを掴んでもらっている。

### (8) 財務

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、やや不適切... 2、不適切... 1			
・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

① 課題

収支計画の見通しを明確化する。

② 今後の改善方策

収支のバランスを見直し、見通しをたてる。

### (9) 法令等の遵守

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、やや不適切... 2、不適切... 1			
・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1
・ 自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

① 課題

自己評価をし、問題点を改善していけるよう、努力する必要がある。

② 今後の改善方策

自己評価をもとに、振り返りの機会を設ける。

### (10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、やや不適切... 2、不適切... 1			
・ 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1
・ 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
・ 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1

① 課題

社会や地域に目を向ける必要がある。

② 今後の改善方策

特にカリキュラムはないが、生徒に負担のかからない範囲でボランティア情報を提供するべく努める。

(11) 国際交流（必要に応じて）

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、やや不適切... 2、不適切... 1			
・ 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4	3	2	1
・ 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	3	2	1
・ 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	3	2	1
・ 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	3	2	1

① 課題

留学生の生活指導、困りごとの把握の徹底。

② 今後の改善方策

留学生に関しても、気軽に相談できる環境を整えているが、声掛けを通じて留学生の困りごとの把握に努める。

③ 特記事項

授業は全て日本語で行われるため、教職員は留学生に関して気を配っている。令和年6年度は在籍学生は無し。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

本校では、教育の質向上と学生支援の充実を目指し、重点的な取組を進めた。

・ 入学者増加に向けてホームページの情報更新、SNSを可能な範囲で発信を行った。より効果的な活用に向けて、学生との協力体制の強化も視野に入れている。

・ 教育面では、教員の研究時間を確保し、校内研修も実施するなど、授業改善に取り組んだ。教員間での連携や外部の視点を取り入れる工夫も進めている。

・ 実践的な学びとして、外部ファッションショーに2回参加し、学生は裏方スタッフとして関わるなど、現場経験を積む機会を得た。

・ また、学院主催のファッションショーを「ノートルダム神戸」にて開催し、神戸の海を望む華やかな会場で、学生たちは自作の衣装を堂々と披露した。普段とは異なる特別な環境での発表は、達成感や自信にもつながり、学びの集大成として大きな意味を持つ機会となった。学年間の交流や創作意欲の向上にもつなげている。

・ 学生が主体的に課題に取り組み、思考力や表現力を育むよう、教員は試行錯誤を促す支援を行った。進路支援については個別に対応し、希望の進路実現に向けてきめ細かなサポートを行っている